

【運動器】認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関 受講案内



対象：登録理学療法士取得者

登録理学療法士登録番号をご準備下さい。

日本理学療法士協会のマイページより、認定証を出力することができます。

定員：各期 20 名

金額：20,000 円（基礎 15 講義・専門 5 講義 合計 20 講義の金額となります）

講義方法：全講義オンデマンド形式（開講期間内での動画視聴をして頂く形式）

第1期と第2期と第3期で3期の開催となります。（どれか1つの期間で修了となります。）

第1期：5月1日から10月31日の6ヶ月間

第2期：8月1日から1月31日の6ヶ月間

第3期：11月1日から1月31日の3ヶ月間

各期、3～6ヶ月の間に全20講義をご自身のペースで受講して頂きます。

動画をオンデマンドで閲覧して頂き、動画内のキーワードを送信して頂き受講確認となります。

全20講義分のキーワードを送って頂いて、受講修了となります。

申込方法：申込フォームより、必要事項を入力して下さい。

入力頂きましたら、担当者よりご連絡させて頂きます。

	申し込み URL	申し込み QR コード	申し込み期日
第1期	https://forms.gle/s5ZMhCFLH3KsXdNa9		〆切
第2期	https://forms.gle/wA3xy1zsFYWTRtiz9		2025年7月25日締め切り ↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓ 期日後となりますが、受講希望の方は、 nishikawa-seminar@naoso.com までご連絡下さい。
第3期	https://forms.gle/wsQHF7CAZfpnAhT58		2025年10月25日締め切り

講義内容：

講義内容
1.正常な構造・機能と疾病の基礎
2.医学的診断と治療介入
3.理学療法介入の意義と理学療法士の役割
4.疾患によって生じる障害とその評価および予後予測
5.筋力評価の方法と筋力増強のメカニズム
6.関節可動域制限の要因と治療手技
7.運動器疼痛の評価と理学療法
8.骨折・外傷後の治癒過程と理学療法
9.自立支援や疾病管理の補助具、機器とその活用
10.患者・家族教育の意義とその方法
11.変形性関節症の理学療法
12.筋・腱・韌帯損傷後の外科的治療と理学療法
13.末梢神経障害の理学療法
14.発症予防、重症化予防、再発予防
15.社会資源の活用
16. 疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編2） (肩関節疾患の機能解剖と理学療法)
17. 疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編3） (脊椎疾患の機能解剖と理学療法)
18. 疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編4） (股関節疾患の機能解剖と理学療法)
19. 疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編5） (膝関節疾患の機能解剖と理学療法)
20. 疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編6） (足関節疾患の機能解剖と理学療法)

※全講義受講修了者は、今年度中に日本理学療法士協会に修了報告を提出させて頂きます。今年度中に修了することで、来年度の運動器認定理学療法士の受講要件の1つを満たすこととなります。受講年度に認定理学療法士を受験することはできません。受講年度の次年度となります。細かい制度についての確認は、[日本理学療法士協会のホームページ](#)の『認定理学療法士の取得』よりお願い致します。

担当者：西川整形外科リハビリテーション部 大山隆人

